

## 2015 年度事業経過報告

### ◎総括報告

公益法人として4年目を迎えた本会は、『国民に信頼され尊敬される組織の実現』を目指し、公益事業を中心に各種事業を行った。

「歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立60周年地域交流記念大会」を福岡市で開催した。

歯科技工に関する普及啓発事業は、「2016年入れ歯感謝デー市民公開講座」を福岡市において、養老孟司氏（演題「養老流～脳から見る生きがいと健康～」）を講師に開催した。

本会編集による歯科技工士の仕事紹介書籍『歯科技工のおもしろさ』（一般財団法人口腔保健協会発行）を刊行し、全国の公立図書館、約360館に寄贈した。

1986年にスタートした生涯研修事業は、地域組織学術担当者と協力し継続開催した。厚生労働省委託事業・感染症予防歯科技工士講習会を継続開催した。

日本歯科技工士会研修カードの発行を行い、日技指定研修事業・顎口腔機能学研修を開催した。

中長期総合計画“日技新発展『7』プラン”は、『7』プラン推進委員会のもと、年度事業との整合性を図りながら順次実施と点検を行った。

外部有識者等による総合政策審議会より、「歯科技工士の資質向上」、「歯科技工士の環境整備」を主題とした答申を得た。

歯科技工士国家試験の統一化を図る歯科技工士法改正を受け、初の「歯科技工士国家試験」が全国4ヶ所を会場に実施され、これに協力した。

衛生行政報告例の歯科技工所数が実際との乖離が大きい問題に対して、本会の要望に沿い、歯科技工士法施行規則等の一部改正等の対策が行われた。

国際交流事業では、福岡市において第18回アジア・太平洋地域歯科技工士連盟協議会をホスト国として開催した。公益財団法人国際医療技術交流財団（以下「JIMTEF」と表記する。）とともにベトナム社会主義共和国での技術協力事業調査のため視察を行った。

公益財団法人国際協力NGOジョイセフ活動の支援活動を地域組織と会員の協力の下に行い、開発途上国の女性、子供たちへの支援活動に寄与した。

大規模災害発生時の災害医療に関する知識と技術の修得を目的としたJIMTEF・災害医療研修ベーシックコース、同アドバンスコースの開催に協力した。

首都直下地震等大規模災害対策の東京都帰宅困難者対策条例の順守のため、備蓄品の点検、事務局機能維持等の検討を行っている。

『2015 歯科技工士実態調査報告書』を発行した。

女性歯科技工士対策委員会、新卒歯科技工士対策委員会より意見書が提出された。

地域組織との情報の共有を図るため、全国実務代表者会議を開催した。

以上、2015年度の総括報告とする。